

報 医 世 々



目 次

●巻頭言 「プロフェッショナリズムと医学教育」 大船渡病院 院長 伊 藤 達 朗… 2	●医院紹介……………飯塚眼科医院 院長 飯 塚 和 彦… 8
●理事会報告…………… 3	●県立病院各科紹介 岩手県立高田病院……………小児科 大 木 智 春… 9
■第 6 回理事会報告…………… 3	●学校医等の推薦について…………… 11
●随 想 「あれからもう 4 年（まだ 4 年？）」 松原クリニック 盛 直 久… 5	●新入会員の紹介…………… 14
高田病院 溝 部 宏 毅… 6	●事務局日記…………… 15
	●編集後記…………… 16
	●表紙のことば…………… 16



第 1 3 3 号
2015. 4. 25

気 仙 医 師 会
岩手県大船渡市盛町字内ノ目 6 - 1
TEL:0192-27-7727 FAX:0192-26-2429
<http://kesen-med.or.jp/>

巻頭言

プロフェッショナリズムと医学教育

岩手県立大船渡病院 院長

伊 藤 達 朗

現在、医学教育分野でプロフェッショナリズムは医師の能力（コンピテンシー）の一つととらえ、臨床研修の現場でも必要な教育テーマとして注目されている。プロフェッショナリズムは日常では聞きなれない言葉であるが簡単に説明すると専門職集団または専門職個人の在り方である。医師のプロフェッショナリズムの定義は様々なものがあるがArnoldとSternらは臨床能力、コミュニケーションスキル、倫理的・法律的土台の上に立つ、卓越性、人間性、説明責任、利他主義の4つでプロフェッショナリズムを支えていくと定義している。

プロフェッショナリズムの教育が医学教育で必要になった理由は1980年代から90年代のアメリカで、医師たちのプロフェッショナルとしての精神が失われつつあるのではないかと懸念されたためである。そして、そこから医師のプロフェッショナリズムを定義し、医学教育のカリキュラムそしてコンピテンシーに組み込まれ、2000年代になり日本の医学教育にも影響を与えたのである。

プロフェッショナリズムは医学教育で非常に重要なテーマであることは十分承知しているが、どのような方略で教育し、どのように評価するのか疑問である。あるべき姿を説いて教育するのだろうか。絶対にゆるぎなく正しい医師の規範、倫理、在り方などはあったためしがないし、すべてを兼ね備えた医師に育てることは不可能に近い。考えや行動を変えるためには、説いて教えるのではなく、その医師が本来持っている物を引き出し、気づきを促すことではないだろうか。

先日、医学教育で高名な中島宏昭先生をお招きして講演会を開催したが、その際先生は「医師の社会からの評価は医師としての力（知識・技能・態度）と人間性（子供の頃から培われてきたもの）と情熱（仕事と人生に対するエネルギー）の足し算ではなく掛け算であり、どれか一つでも0であれば0になるというものである。」と話されていた。プロフェッショナリズムは医学教育ではすでに遅いのかもしれない。

随 想



あれからもう4年(まだ4年?)…

松原クリニック

盛 直 久

あの3.11から4年が経過した。

大津波に襲われてから10日余後によりやくヨーロッパからたどり着いて目の当たりにした気仙の惨状。わが気仙医師会も人的・物理的に多大な被害に襲われてその機能を喪失していた。

あれから4年。うわべだけは復興は順調そうである。しかし、同じ気仙内でも地域により復興度合いに大きな差が出てきている。陸前高田の旧市街地では巨大なベルトコンベアーで土地のかさ上げ作業が進められている。一方では、津波の届かない場所での自宅の再建・災害公営住宅の建設が急ピッチで進められている。しかしせっかく作った災害公営住宅も完全には埋まっていないとか。高齢者が入居者の多くを占めるとか。また防災集団移転として一般住宅の高台移転が計画されているが、いつになったらそこに自分の住宅を建てられるのか。はたしてその時期が来るまで待っていられるのか。住宅ができたとして、生活の糧を得られる職場が十分にできるのか。周辺部に生活の場が再建されて、周辺地域に大型スーパーが作られたあとでは、かさ上げ地に商店街を作ったとして果たしてそこまで買い物に出かける人たちが多くいるのだろうか？さらには、せっかく復興予算がついてもそれが有効に使われているのか？資材の高騰、人手不足により、思った通りには工事が進まず、せっかくの予算も消化しきれているのか…。いったいこの街の将来はどうなっていくのだろう…。

読み返してみると、ちょうど3年前の気仙医報に「もう1年 そろそろ詳細な総合的検証を」を書いていた。その後、3年前に考えたように災害医療部会で総合的な検証が行われ、医師会としての災害医療対策が立てられた（平成25年3月）。曲がりなりにも県の災害医療コーディネーター制度が立ち上がり、スローペースながら具体的な活動内容が検討

されつつある。最近大船渡市でも地域防災計画が修正され、災害医療コーディネーター制度も活用されそうである。

防災計画の中では、災害拠点病院以外の医療機関には、傷病者のトリアージ・応急処置・収容・搬送等、地域災害拠点病院と連携しながら傷病者の治療を行うとともに、必要に応じて医療救護班活動を行うことが求められている。

しかし被災地内における災害医療活動としては、病院勤務医と開業医では根本的に立場が異なる。勤務医は給料が保障されており、生活の心配に制約されないで院外医療活動にも参加できる。一方開業医は自分の施設が被災して診療ができなくなると一巻の終わりである。まずは災害から我が身を守り、家族・従業員の安全を確保し、破壊された自施設早期再稼働に全力をそそぐべきであろう。それが家族・従業員の生活を守るとともに、結局は災害拠点病院と協力して地域医療活動を支え、早期に外部支援医療チームから医療活動を引き継いでいく、医療の早期復興につながる。

しかし当然のことながら、医師会会員として、急性期災害医療の一翼を担う社会的責任もある。いざというとき積極的に災害医療に参加すべく、平素から心しておくべきである。

高田病院

溝 部 宏 毅

高田病院へ勤めるようになって、もうすぐ2年になります。それまで私は福岡市の隣にある糸島市で19年間開業していました。被災地へ行きたいと思い家内を説得するのに一年、診療所を継いでくれる人を見つけて継承するのに一年かかりました。私にとってこの4年間はあっという間でした。開業医が長かったため、今でも気持ちは開業医のままです。医師会では、会計や介護保険を担当していました。

文章を書くのは苦手なのですが、随想を書いて下さいと言われた時、医師会の仕事は可能な限り断らないという習性？が染みついており、反射的に書きますと返事をしていました。内容のない下手な文章ですがお付き合い下さい。

私の趣味はカメラとクライミングです。福岡にいる時はガイドさんをお願いして岩壁を登っていました。クライミングは皆さんが思われているほど危険ではありません。特に二番目に登る時は落ちてでもザイルが伸びる分だけで、ズルズルと30〜40センチ滑り落ちるだけです。リードで登っている時に三メートルほど落ちたことがあるのですが、地面まで落ちなければ気持ちは良くないのですが軽い打撲だけです。今はガイドさんやザイルパートナーが見つからないので普通の山登りをしています。東北の山は雪や高山植物が美しいので、暇ができると一人で山歩きをしています。気がつくとも福島の南部を除いて東北のメジャーな山はほぼ登ってしまいました。季節を代えて同じ山を登っていきたいと思っています。

福岡にいる時から、写真を撮ることといった健全な趣味にはあまり興味がなくカメラを集めていました。100台以上はあると思いますが、数えたことはありません。

へそ曲がりな性格のためライカは三台しか持っていなくて、商業的に敗れたメーカーのカメラを集めています。複雑な構造のものは値段が高く故障が多くなります。ただ、機械としてみると非常に魅力的です。フォクトレンダーのプロミネント、美しいカメラですがこれほど使いにくいカメラを他に知りません。コダックのエクトラ、あの時代にして変倍ファインダーを備えています。性能的にはライカを遙かに凌駕していましたが、安いライカにはかないませんでした。フランスのフォカはドイツのカメラと違い柔らかい曲線で優雅な形をしています。スイスのアルパは妥協を許さず、こだわりを持ったカメラですが安い日本製の一眼レフの登場によって駆逐されました。このような普通の人に興味を示さないものに惹かれる私の専門は漢方です。漢方医になる前は循環器内科医でしたので、今はこの地で必要とされる普通の内科医として仕事をさせていただいています。最近、震災後に高田病院に勤務するようになった医師は、次々と地元に戻っていききました。帰るところを自分でなくした私は、漢方医に戻るまでもうしばらく高田病院に勤めていると思いますので、よろしくをお願いします。



太刀・岡山

医 院 紹 介

飯塚眼科医院 院長

飯 塚 和 彦

医院紹介の原稿を依頼され、これまでの医院紹介の記事に再度目を通してみると、大半の先生が東日本大震災に触れられ、この震災に伴い発生した大津波の甚大さを再認識させられます。まず、私の経歴を紹介します。昭和35年5月に襲来したチリ地震大津波の2か月後、大船渡市で生を享けました。当時私の家族は、大船渡町茶屋前、大船渡港の岸壁から100m程の地に暮らしており、私の母は身重の体で大津波の難を逃れたことを聞いています。中学まで大船渡で過ごし、盛岡一高、弘前大学医学部を経、昭和62年に岩手医科大学眼科学講座に入局、同時に同大学の大学院に進学しました。平成4年から、岩手県立福岡病院（現二戸病院）、宮古病院、大船渡病院に勤務し、平成12年1月に飯塚眼科医院を開業しました。

開業にあたって、外来で白内障手術を行うことにしました。侵襲の少ない手術は日帰りでの流れの中、白内障手術も全身的な侵襲は少なく、外来で施行され始めておりました。私もそれまでの臨床経験から大半の症例は外来でも手術できると考え、入院施設は持たず、外来白内障手術を行うこととしました。開業以来15年、外来白内障手術を実施しておりますが、全身的な大きなトラブルは記憶しておりません。循環器疾患、脳血管疾患に対しワーファリン等の抗凝固剤を服薬している症例や、人工透析を行っている症例等も、全身的な病状が安定していれば、外来で問題なく白内障手術を施行できております。入院の上での手術が必要と思われる症例は年に数例で、大船渡病院等へお願いしております。

次に開業にあたって電子カルテを採用しました。当時、インターネットや携帯電話が普及しはじめ、いわゆる情報化社会という言葉がしばしば聞かれるようになっておりました。このような状況を受け、電子カルテを採用することにしました。岩手

医大の眼科に入局して間もなく、アメリカに留学していた先輩が持ち帰ったアップル社のコンピュータを目にし、日本製のものとは比べようもない使い勝手の良さ、スマートさに驚き、すぐにローン組んで購入しました。それ以来、アップル社のコンピュータを愛用しており、当院の電子カルテも、それを用いたシステムを採用しております。

さらに、開業にあたって予約制を導入することになりました。県立病院に勤務していた際、どの病院も眼科外来は込み合っており、待ち時間が長時間に及ぶ状況を見てきました。特に小中学校の夏休み等の長期休暇の時期には、児童生徒の受診者が大幅に増え、午前中に受付した外来患者の診察が終わる時刻が、午後3時、4時頃になることもしばしば経験しました。その際の待ち時間は、4～5時間にも及びます。この経験から、予約制を導入することにしました。眼科の診療は、緊急性の高い患者は稀であり、予約制は、殺到する緊急性の低い患者さんを分散させ、待ち時間を短縮する働きが期待できます。当院では大半を予約患者が占め、患者の在院時間も平均1時間程度、最短では30分程度、予約患者の大半は最長でも2時間程度に収まっているものと思われます。

開業して15年になりますが、上記の外来白内障手術、電子カルテ、予約制に大きな変更はなく現在に至っております。診療内容の主たるものは、



やはり白内障診療であり、当院で実施した白内障手術件数は、15年で5700眼を超えました。ついで留意すべきは、緑内障、糖尿病網膜症の症例です。これらは、日本における失明原因の上位を占める疾患です。当院では、これらに対し保存的な点眼、内服による経過観察の他、適応症例にはレーザー治療も実施しております。観血的な手術の適応症例は、岩手医大等へお願いしております。さらにここ数年留意すべきは、コンタクトレンズ診療です。昨今では、ネット通販でのコンタクトレンズの入手が可能となり、それに伴う角膜疾患が懸念され、私を含め多くの眼科医がコンタクトレンズ診療に精を出さざるを得ない状況にあります。このような状況の中、開業当初は、私を含め11名のスタッフで診療を始めましたが、本年3月末現在15名に増員して診療に当たっております。

最後に東日本大震災時の状況について触れると、当院は大震災により建物に損傷を被りましたが、大津波の難は免れました。人的被害ありませんでした。震災後1週間で診療を再開し、1か月半程で手術も再開しました。平成25年4月から7月

の工期で、建物の損傷に対する修繕を兼ねて増改築工事を行いました。大津波に見舞われた先生と比較すれば軽微でしょうが、大震災から増改築工事までの種々の苦難が思い出されます。震災後には、スタッフの若干の入れ替わりもありましたが、現在、診療体制は設備も人的にもほぼ整い、地域のニーズに応えるべく眼科診療に当たってきたいと考えております。

今後ともよろしく願いいたします。



県立病院各科紹介

岩手県立高田病院 小児科

大 木 智 春

平成23年3月11日に発生した東日本大震災とその後、東日本沿岸部を襲った大津波によって、陸前高田市は壊滅的な被害を受けました。また岩手県立高田病院も壊滅的な状態でした。震災翌日3月12日には当院職員74名、入院患者36名、当院に避難した市民55名は主に自衛隊のヘリコプターにより救助され、当院の職員は主として市内の米崎コミュニティセンターに収容されました。

3月13日、米崎コミュニティセンターが高田病院の避難所に指定され、そこで救護所活動を開始致しました。最初は会議室を仕切っただけの診察室で訪れた患者さんの話を聞くことくらいで支援の医薬品が届くようになってから、ようやく1～2日分の薬を渡せるようになりました。その後各関係機関の協力を得て震災後2週間で血液生化学検査、心電図、X線撮影、超音波検査が可能になり、4月4日には米崎コミュニティセンター内に調剤薬局も立ち上げることができました。

その頃、陸前高田市立高田第一中学校避難所内

の日本赤十字社医療救護班診療ブースでは3月26日から日本小児救急学会からの派遣医師が小児科診療を開始していました。

（日本小児救急学会からの支援医師の派遣は5月22日に日本小児科学会に引き継がれるまで継続。日本小児科学会からの支援医師の派遣は平成24年3月末で終了。）

5月16日には米崎コミュニティーセンターで小児科診療を再開、予防接種、乳児健診等の小児保健活動も日本ユニセフ協会の全面的な支援を得て再開することができました。また1歳6か月児、3歳児健診はそれぞれ6月15日、6月29日から岩手県小児科医会の先生方の全面的な支援を得て再開されました（旧竹駒保育園で実施）。

そしてようやく7月1日に米崎コミュニティーセンターで保健診療を開始し、7月25日には新築の高田病院仮設診療所に移って診療を再開することができました。

仮設診療所再開以後も、全国からの小児科応援医師が多数来てくれたため小児科二診体制で診療をしていました。平成24年2月には念願の仮設の

病棟（41床）も完成。しかし小児科で入院加療の必要な患者さんに対しては夜間休日の対応が難しいこともあり、ほとんど県立大船渡病院小児科の先生方のお世話になっています。

平成27年3月現在、高田病院の小児科は小児科医一人の一診で診療しています。小児科長の太木智春が火水木の週3日を担当し、月金の週2日は県立大船渡病院の森山秀徳先生に診療応援に来ていただいています。また県立中部病院の遠野千佳子先生には月2日間診療応援をお願いしています。当院小児科は外来診療主体です。午前是一般外来、火曜日の午後は乳児健診と予防接種、水、木曜日の午後は予防接種に充てています。それ以外の曜日は午後も一般外来をしています。より専門的な検査や入院、治療が必要な患者さんには県立大船渡病院小児科の先生方にご紹介しています。

震災後は岩手県医師会、気仙医師会の諸先生方には大変お世話になりました。これからも地域の医師会の諸先生方、県立大船渡病院の諸先生方と連携を深めながら診療に励みたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



平成27年度 学校医等の推薦について

◎大船渡市教育委員会関係

様式 1

平成27年度 大船渡市立小中学校医の推薦書

学 校・園 名	児童生徒 見 込 数	内 科	眼 科	耳 鼻 科
盛 小 学 校	144人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 小 学 校	172人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 小 学 校	156人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 小 学 校	79人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
蛸 ノ 浦 小 学 校	47人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
猪 川 小 学 校	314人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
立 根 小 学 校	212人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 小 学 校	68人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 北 小 学 校	172人	菊 池 洋	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 小 学 校	106人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 小 学 校	88人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 小 学 校	66人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
第 一 中 学 校	353人	遠 藤 稔 弥	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 中 学 校	231人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 中 学 校	90人	滝 田 有	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 中 学 校	88人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 中 学 校	38人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 中 学 校	59人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 中 学 校	58人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 中 学 校	32人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也

※児童生徒見込数は、平成26年11月 1 日現在

様式 2

平成27年度 こども園・幼稚園・保育所学校医及び嘱託医・推薦書

学校・園名	幼 児 見込数	内 科 (学校医)	内 科 (嘱託医)	眼 科 (学校医)	眼 科 (嘱託医)
綾里こども園	幼稚園籍 7人 保育所籍 65人	山 浦 玄 悟		飯 塚 和 彦	
越喜来幼稚園	8人	佐々木 道 夫		飯 塚 和 彦	
越喜来保育所	54人		佐々木 道 夫		飯 塚 和 彦
吉浜こども園	幼稚園籍 7人 保育所籍 39人	中 舘 敏 博		飯 塚 和 彦	

※幼児見込数は、平成26年11月 1 日現在

様式 3

平成26年度 就学時健康診断担当医推薦書

園 名	受診対象見込数	内 科	眼 科	耳 鼻 科
盛 保 育 園	19人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
大 船 渡 保 育 園	36人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
明 和 保 育 園	31人	岩 渕 正 之	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
末 崎 保 育 園	23人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
赤 崎 保 育 園	10人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
蛸ノ浦保育園	6人	鵜 浦 哲 朗	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
猪 川 保 育 園	35人	大 津 定 子	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
立 根 保 育 園	19人	星 篤 樹	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
日 頃 市 保 育 園	18人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
海 の 星 幼 稚 園	24人	山 浦 玄 嗣	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
綾 里 こ ど も 園	幼稚園籍 3人 保育所籍 12人	山 浦 玄 悟	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 幼 稚 園	4人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
越 喜 来 保 育 所	12人	佐々木 道 夫	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也
吉 浜 こ ど も 園	幼稚園籍 3人 保育所籍 8人	中 舘 敏 博	飯 塚 和 彦	伊 藤 俊 也

※受診対象見込数は、平成26年11月 1 日現在

平成27年度 市児童生徒結核精密検査実施医療機関について

記

NO	医 療 機 関 名	住 所	医 師 名
1	岩 渕 内 科 医 院	大船渡町字新田49-4	岩 渕 正 之
2	石 倉 ク リ ニ ッ ク	大船渡町字茶屋前55-3	石 倉 功 一
3	う の う ら ク リ ニ ッ ク	立根町字中野40-5	鵜 浦 哲 朗
4	えんどう消化器科・内科クリニック	猪川町字中井沢7-2	遠 藤 稔 弥
5	大 津 医 院	盛町字東町11-11	大 津 定 子
6	菊 田 外 科 泌 尿 器 科 医 院	大船渡町字明神前11-1	菊 田 裕
7	滝 田 医 院	末崎町字平林75-1	滝 田 有
8	地 の 森 ク リ ニ ッ ク	大船渡町字山馬越188	蔵 本 純 一
9	山 浦 医 院	盛町字内ノ目2-4	山 浦 玄 悟
10	山 崎 内 科 医 院	盛町字内ノ目7-20	山 崎 一 郎
11	大船渡市立国民健康保険越喜来診療所	三陸町越喜来字所通26-1	佐々木 道 夫

◎陸前高田市教育委員会関係

平成27年度 陸前高田市立小中学校医について

内 科

学 校 名	使 用 校 舎	在籍生徒数	担 当 医	所属医療機関名
高 田 小 学 校	気 仙 小 学 校	224	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
気 仙 小 学 校	旧 長 部 小 学 校	70	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
広 田 小 学 校	広 田 小 学 校	128	近 江 三喜男	広 田 診 療 所
小 友 小 学 校	小 友 小 学 校	72	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院
米 崎 小 学 校	米 崎 小 学 校	150	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院
矢 作 小 学 校	矢 作 小 学 校	54	吉 澤 徹	鳥 羽 医 院
竹 駒 小 学 校	竹 駒 小 学 校	58	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
横 田 小 学 校	横 田 小 学 校	72	大 木 智 春	県 立 高 田 病 院
第 一 中 学 校	第 一 中 学 校	256	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
気 仙 中 学 校	旧 矢 作 中 学 校	69	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院
高 田 東 中 学 校	旧 米 崎 中 学 校	194	吉 澤 熙	鳥 羽 医 院
横 田 中 学 校	横 田 中 学 校	21	鵜 浦 章	鵜 浦 医 院

耳 鼻 科

・市内全小中学校	在籍生徒数	1,442	伊 藤 俊 也	いとう耳鼻咽喉科クリニック
----------	-------	-------	---------	---------------

※検診委託契約

眼 科

・市内全小中学校	在籍生徒数	1,442	飯 塚 和 彦	飯塚眼科医院
----------	-------	-------	---------	--------

平成27年度 保育所等嘱託医名簿

平成27年度			
区分	保育所名（児童数）	医院名称	医師名
公立	高田保育所（82）	県立高田病院	大木智春
	小友保育所（49）	鳥羽医院	吉澤 熙
	長部保育所（33）	県立高田病院	大木智春
	矢作保育所（13）	鳥羽医院	吉澤 徹
法人立	広田保育園（81）	広田診療所	近江 三喜男
	米崎保育所（118）	鳥羽医院	吉澤 熙
	横田保育園（39）	県立高田病院	大木智春
	竹駒保育園（65）	鵜浦医院	鵜浦 章
	下矢作保育園（15）	鳥羽医院	吉澤 徹
児童扶養手当障害認定医（内科）		鵜浦医院	鵜浦 章
児童扶養手当障害認定医（外科）			
児童扶養手当障害認定医（精神科）		希望ヶ丘病院	

※児童予定在籍数は平成27年1月1日現在の申込者数

学校保健等関係委員の推薦について

記

1、陸前高田市学校保健会委員

（1名）【任期1年（平成27. 4. 1～28. 3. 31）】

平成27年度・鵜浦 章 医師

2、陸前高田市就学指導委員会 委員

（1名）【任期2年（平成27. 4. 1～29. 3. 31）】

※平成27～28年度委員・鵜浦 章 医師

3、陸前高田市学校給食センター運営委員会

（1名）【任期2年（平成27. 4. 1～29. 3. 31）】

※平成27～28年度委員・吉澤 熙 医師

新 入 会 員 の 紹 介

猪 股 眞 先生

入 会 日 平成27年4月1日

生年月日 昭和23年4月19日

出 身 校 帝京大学医科大学

勤 務 先 医療法人 希望会 希望ヶ丘病院